

連携講座 ③-6 【立教セカンドステージ大学】（中央区発祥大学シリーズ） 一般募集 25名

◆セカンドステージへの招待 ～高齢化社会・介護・NPOについて考える～



主題 今日では多くのシニア層が、退職した後の20年以上の人生をどのように過ごしていくかが重要な課題です。立教セカンドステージ大学は、こうした50歳以上のシニア層を対象に「学び直し」と「再チャレンジ」を支援する目的でスタートした生涯学習機関です。

さまざまなバックグラウンドを持ったシニアの人たちが集い、互いに学び合いながら、人と人のネットワーク、地域や社会とのネットワークを形成し、NPOへの参加や、コミュニティビジネス等の社会貢献活動など、社会参加の担い手としてセカンドステージに踏み出すための豊富なカリキュラムが体系的に組まれています。

今回の連携講座では、その立教セカンドステージ大学の実際の取り組み紹介や、教授たちによる具体的講義を行います。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/ 1 (月)	立教セカンドステージ大学について 担当授業「暮らしに役立つ経済と金融」の概要について キャンパス見学	坪野谷 雅之
第2回	10/15 (月)	超高齢社会論	庄司 洋子
第3回	10/29 (月)	高齢者の生活と介護保険	橋本 正明
第4回	11/12 (月)	セカンドステージと事業型NPO	鈴木 政孝

講師紹介

坪野谷 雅之 (つぼのや まさゆき)

立教セカンドステージ大学運営委員・講師。住友信託銀行入社後、国内業務はもとより10年を超える香港・ロンドン勤務を経験。立教大学総長補佐、ビジネスデザイン研究科講師。立教セカンドステージ大学の設立準備に携わる。立教大学経済学部経済学科卒業。

庄司 洋子 (しょうじ ようこ)

立教大学名誉教授、立教セカンドステージ大学運営委員・講師。日本社会事業大学教授、立教大学社会学部教授、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任教授を経て、現職。東京大学文学部社会学科卒業。ハーバード大学教育学大学院修士課程修了。

橋本 正明 (はしもと まさあき)

社会福祉法人至誠学舎立川常務理事至誠ホーム長。元立教大学コミュニティ福祉学部教授。文部科学省教科書検定臨時委員（生活科・介護担当）。介護支援専門員試験委員会副委員長（福祉担当）。認定社会福祉士認定・認定運営機構長。その他、現場に立脚して高齢者福祉のフィールドにいる。フィンランド・ユバスキュラ大学卒。

鈴木 政孝 (すずき まさたか)

事業型NPO法人イー・エルダー理事長。東京生まれ。72歳。日本IBM(株)で人事、営業、広報、社会貢献などのマネジメントを歴任し、2000年イー・エルダーを創設。シニアの知的社会資産を活かして、非営利組織の活性化や高齢者・障害者の就業支援などを目的としたITを中心とした非営利事業を行っている。ウェブアクセシビリティの普及、ソーシャル・ビジネスの普及啓発などにも奔走中。

講座番号 ③-6

時間：午後2時～3時30分

場所：月島社会教育会館

※第1回は立教大学池袋キャンパス：5号館前に現地集合・現地解散

回数：4回

受講料：1,200円

定員：30名



連携講座 ③-7 【朝日新聞社】 一般募集 30名

◆日本のエネルギー問題を考える ～福島原発事故から2年を前に～

主題 2011年3月11日、東日本大震災が発生。東京電力福島第一原子力発電所の事故を受けて、2012年5月には国内の稼働原発がゼロになった。大きな転換を迫られている日本のエネルギー問題。原発依存を脱することはできるのか。電力、エネルギー政策は今後どう変わっていくのか。また、民間や地方で進む自然エネルギー活用の将来像は。

原発事故から2年を迎えようとしているいま、原発の地元での取材経験や最新の情報も含めて、日本の原子力と電力システムを理解し、考える糸口を提示したいと思います。

講座番号 ③-7

時間：午後3時30分～5時

※第3回は午後12時45分～2時30分

場所：朝日新聞東京本社
2階読者ホール

回数：5回

受講料：1,500円

定員：40名

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	2/ 5 (火)	原発事故報道と今後の原子力発電	竹内 敬二
第2回	2/12 (火)	再稼働に揺れた原発の地元福井	福井総局管内の記者
第3回	2/19 (火)	朝日新聞東京本社内見学	
第4回	2/26 (火)	日本の電力システムとエネルギー政策の今後	小森 敦司
第5回	3/ 5 (火)	自然エネルギーで町おこし～電気の「産直」に向けて～	安井 孝之

講師紹介

竹内 敬二 (たけうち けいじ)

朝日新聞社編集委員。岡山県生まれ。1980年入社。和歌山支局、科学部、ロンドン特派員、論説委員などを経て現職。1990年ごろから温暖化の国際交渉を取材。チェルノブイリ原発事故の現地を4度取材をするなど原子力、エネルギー問題も担当。最近、連載シリーズ「エコ・ウオーズ」や、福島原発事故と原子力政策を担当。著書に『地球温暖化の政治学』。

小森 敦司 (こもり あつし)

朝日新聞社編集委員。東京都出身。1987年入社。千葉、静岡両支局、名古屋・東京の経済部に勤務。金融や経済産業省を担当。ロンドン特派員(2002～2005年)として世界のエネルギー情勢を取材。社内シンクタンク「アジアネットワーク」でアジアのエネルギー協力策を研究。現職ではエネルギーや環境を担当。著書に『資源争奪戦を超えて』、『失われた20年』(共著)、『エコ・ウオーズ～低炭素社会への挑戦』(共著)。

安井 孝之 (やすい たかゆき)

朝日新聞社編集委員。1957年、兵庫県生まれ。「日経ビジネス」記者を経て、1988年入社。東京と大阪の経済部で、流通業界、自動車業界、金融業界などを取材。また、財務省、経産省などで財政、産業政策などの取材も経験。東京経済部次長を経て現職。著書に『これからの優良企業』、『日米同盟経済』(共著)など。

